



<プレスリリース>

2016年9月2日

各 位

CYBERDYNE 株式会社
代表取締役社長 山海嘉之

大同生命保険株式会社との業務提携のお知らせ

～サイバニクスと保険の協働による革新的医療技術の普及に向けて～

CYBERDYNE株式会社(代表取締役社長 山海嘉之、以下「当社」)は、人・ロボット・情報系の融合複合技術である【サイバニクス】技術を駆使した世界初のロボット治療機器「HAL[®]医療用下肢タイプ」(以下、「医療用HAL[®]」)の公的医療保険収載に加え、この度、新たに民間保険会社と協働する取り組みとして、大同生命保険株式会社(代表取締役社長:工藤 稔、以下「大同生命」)と業務提携契約を締結いたしました。

本提携のなかで、大同生命は当局の認可を前提として、医療用HAL[®]を用いた特定の疾病治療に対し、受療者の治療費用負担軽減のための「新たな保険商品の開発」を目指すこととなっています。

医療用HAL[®]は、本日より緩徐進行性の神経・筋難病疾患の患者に対して公的医療保険による治療が開始されておりますが、民間保険会社と協働するこの取り組みは、医療機器名称が新設され、公的な保険収載を実現した医療用HAL[®]による新医療技術の普及を促進するとともに、これまで最新医療でも治療困難とされてきた神経・筋難病疾患の患者の皆様にも、より安心して最先端の治療を受けていただくことに繋がるものと考えております。

また、今回パートナーとなる大同生命は、「Try&Discover(挑戦と発見)による価値の創造を通じて、人と社会に貢献する」ことを経営理念として掲げる「T&D保険グループ」の中核会社であり、少子高齢化など社会が直面する課題を革新技術によって解決し、『重介護ゼロ[®]社会』を目指す当社とは、多くの事業領域において共通の経営理念を有しています。

今後、両社の幅広い事業分野で、当社の革新的サイバニクス技術と保険の協働によるシナジーを発揮し、医療イノベーションと健康長寿社会の確立に向けた取り組みを推進してまいります。

■大同生命の概要

大同生命は、T&D保険グループの中核企業として、中小企業市場における生命保険販売(経営者保険)に圧倒的な強みとシェアを持っております。また、近代日本における女性実業家のさきがけであり、連続テレビ小説「あさが来た」(NHK)のヒロインのモデルとなった「広岡浅子」は、同社の創業者の一人(1902年創業)です。大同生命は各種事業で成功を成し遂げた彼女の「挑戦のDNA」を今に受け継ぎ、これまでも「ビジネスモデルの戦略的転換(中小企業市場への特化)(1970年代)」「国内生保初の株式会社化・上場(2002年)」「法人市場における就業不能保障分野の開拓(2010年～)」など、時代の変化に合わせ、前例のないことに果敢に挑戦することで今日のポジションを築いております。



名称	大同生命保険株式会社
所在地	(大阪本社) 大阪府大阪市西区江戸堀一丁目2番1号 (東京本社) 東京都中央区日本橋二丁目7番1号
代表者	代表取締役社長 工藤 稔
事業内容	生命保険業など
資本金	1,100億円
設立年月	昭和22年7月(創業明治35年7月)

会社概要:

社 名 CYBERDYNE 株式会社(サイバーダイн)
住 所 茨城県つくば市学園南二丁目 2 番地 1
資本金等 267億43百万円
設 立 2004年6月24日
事業内容 ロボットスーツ等の開発・製造・販売
証券コード 7779

お問い合わせ先

CYBERDYNE 株式会社
<http://www.cyberdyne.jp>
TEL (029) 869-9981(広報・IR)
担当: 田中・杉江・宇賀
広報: media@cyberdyne.jp
IR: ir@cyberdyne.jp